

つた仔牛は愚か、大きな親牛までも附け加へて進上致しましやう。

簡易英語

I go to School

私は學校に行きます。

Don't you go with me?

あなた一所に行きませんか

Look there, how many boys here are coming!

あそこを御覽、まゝ大勢の子供等がコチツへ來

ますこと、

Let us go with them.

私ども、あの人と一所に行きませう。

慈善の麵包

北斗女子譯

饑饉の時に近郷の或慈善家が市中の貧乏なる二十名の小供を呼ひ此籠の内に汝等の爲に二十個の麵包がある、各々一個宛を取れ、善き時となる迄、日々同じ時間に汝等來るべしと籠を出せしに、小供等は我れ勝に其籠に飛び往き、可及的大なる麵包を取らんと争ひ或は喧嘩し挨拶もせず、後をも見ず、皆々駈去りしに、貧乏なれども清き衣服を着たる「フランチシカ」と云ふ少女一人は遙か向に謙遜して立ち居たり、彼の小供等が去りし後やがて静かに進み出で籠に残りし小き麵包を取り丁寧に挨拶して去り、翌日小供等來り前日の通り互に喧嘩し去りしに「フランチシカ」ばかりは此慈善家に丁寧に黙禮して進み籠に残りし殆んど半分

程も小き麵包を取り元の所に退り再び挨拶し徐々と歸りたり。少女の家には病たる一人の母あり、娘の持ち來りし麵包を切たればバラ／＼と澤山の銀貨の溢れ落しに母は驚き、定めて誤つて麵包の中に這入しならん、娘よ早く持往きて返すべしと命じたり。娘わ直ちに戻し往しに彼の慈善家は否々誤りに非ず故意と最も小き麵包の中に入れて焼かしめたり。此品わ汝の満足心と平和心を賞美せんためなり、汝ち「フランチカ」よ終身左様に致し居れよ、誰でも大なるものゝ爲に戦ふより寧ろ小きものを以て満足する時は、此麵包の如く後來大なる幸福を得に至るべし

三人の親友

北斗女子譯

茲に親密なる三人の朋友ありたり。如何なる場合といへども互に助け合ひて恰も一体の如く吉凶共に必ず相分たんことを盟約したりき。

或時甲友に突然止を得ざる金子の必要を生じたるを以て近き所に住たる乙友に使を送り何程か都合だけの金額の借用を申し送りたり。乙友は直ちに過分の金子を財布に入れ封印して渡したり。甲友は此金子を受取りて將に開封せんとする際忽ち丙友より書面來り何事なるやと直ちに之を讀下せば金子借用したし併し是非と云ふ程にわらずと認めありたり、されど甲友は自分も金子の爲め究迫し居ることを思ひ合はせ只今乙友より受し封印づきの財布を惜氣もなく其儘に渡したり、されば其財